

2018年度 中国留学報告書

留学先：北京師範大学

留学期間：8月27日（木）～1月7日（月）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017126
横澤咲季

目次

1	留学先及び留学期間.....	3
2	留学先概要.....	3
3	留学目的.....	3
4	留学内容.....	4
	4 - 1 留学のスケジュール.....	4
	4 - 2 留学の詳細.....	4
5	所感.....	5
6	おわりに.....	5
	謝辞.....	5

付録

	留学日誌.....	6
--	-----------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

留学期間：平成 29 年 8 月 27 日（月）～平成 29 年 1 月 7 日（月）

※帰国は 1 月 7 日（月）

2 留学先概要

(1) 大学について

北京師範大学は、中国の首都、北京市に位置する。北京市は人口が約 2,154 万人で、中国の経済に大きな影響を与える都市の一つである。北京師範大学は北京四大大学の 1 つであり、100 年以上の歴史を持っている。北京師範大学は主に学校教育に力を入れており、約 30 の学部、10 個の研究所があり、本科生が 10,260 人、研究生が 12,891 人、長期留学生約 1600 人を受け入れている。図書館内に収蔵されている本は約 465 万冊、電子書籍が約 809 万冊という規模の大きさを誇る。他にも大学内には体育館、食堂、留学生寮などの設備が完備されている。

(2) 大学で行われている教育について

北京師範大学は多くの留学生を受け入れており、初めにクラス編成テストを行い、自分の能力に合わせたクラスで授業を受けられる。クラスは 1 クラス 15 人ほどの少数人数である。授業は、リーディング、リスニング、スピーキングの 3 つの科目があり、各々の科目に集中して学ぶことができる環境が整えられている。他にも週 1 回、中国文化を学ぶ授業があり、中国習字についての授業を受けることができた。

3 留学目的

今回の留学の目的は、語学力の向上とともに、海外での生活を通して、様々な視点から物事を見る視野の広さを養うためである。実際に中国へ行き、言語を学ぶことが、今まで鍛えることが難しかったリスニング力、会話力を身に着け、さらに語学力を向上させるために最適であると考えた。また現地のネイティブスピーカーや外国人留学生が集まる環境の中で生活を共にし、他人から見た視点から物事を見る際の基準や判断に大きく影響を受けることによって、新しい視野を発見することが目的であった。

また異文化理解も目的の 1 つである。中国人や外国人留学生の生の声を聴くことで、日本人とは異なる文化に触れることができると考え、様々な国の方たちと交流ができる特別な環境の中で、多くの異文化に触れる機会を得て、交流することを試みた。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	27 (月)		到着
	29 (水)		入学手続き
	30 (木)		クラス分けテスト
	31 (金)	入学式	
9	3 (月)		授業開始
	8 (土)		中日交流会
	22 (土) ~ 24 (月)	内モンゴル旅行	
10	1 (月) ~ 5 (金)	国慶節 (休暇)	
11	1 (木) ~ 2 (金)	中間テスト	
	17 (月) ~ 23 (日)	江西省修学旅行	
12	25 (火)	クリスマスパーティー	
	27 (木) ~ 28 (金)	期末テスト	
1	4 (金)		終了式
	7 (月)	帰国	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) クラス分けテスト

個人のレベルに合わせたクラスを編成するために行われたテスト。

ii) 留学生開会式

留学生に対して行われ、これからの予定などの説明があった。

iii) 中日交流会

北京師範大学で日本語専攻している大学2年生の中国人との交流会。

iv) 内モンゴル旅行

クリニック主催の旅行で、内モンゴルまでバスで向かい、ゲルに宿泊し、ラクダに乗ったり乗馬体験をした。

v) 江西省修学旅行

漢語文化学院の生徒とクラスメートで江西省へ修学旅行に行った。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 語学力の向上

HSK や中国語検定などの受験をしていないため、具体的な記述については差し控えるが、現地の方や外国人留学生とのコミュニケーションや授業を通して留学前よりも確実に力がついた。

ii) 物事に対する視野を養う

上記にもあるように、現地の方や外国人留学生とのコミュニケーションを通して、他面的な視点に触れる事ができたといえる。

iii) 異文化理解

海外で生活をしたことによって、その土地での風習や文化にじかに触れる事ができ、新たな発見をすることができたといえる。

6 反省・課題

留学に行かなければ、会うことができなかつた方々と交流できたことを非常にうれしく思うし、誇りに思う。その方たちとの交流で自然と身についた中国語能力や会話力を無駄にしないようこれからの生活で意識していきたい。

謝辞

今回北京師範大学にて、ご指導して下さった先生方、私たちの生活をサポートして下さった黄薇さん、日本人会の皆様、そして佐藤若菜先生、區先生、留学の手続きなどをして下さった学務課の皆様、その他今回の留学に関わって下さった関係者の皆様、出会った方々に感謝申し上げます。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを心から感謝いたします。

付録：留学日誌

8月27日（月）午後
出発
内容 ・新潟空港にて區先生と合流 ・14：30～15：40 新潟-成田の飛行機で移動 ・18：20～21：20 成田-北京の飛行機で到着 ・空港から北京師範大学までバスで移動

移動の所感

移動時間が長いこと、そして北京師範大学への到着時間が遅かったこともあり、大変疲れた。

8月28日（火）
銀行口座開設、携帯購入
内容 ・中国銀行の口座の開設、また携帯の購入

銀行口座開設と携帯購入の所感

銀行口座を開設するのに時間がかかるため、疲れを感じた。携帯電話を購入する際にかかった費用は1100元（約18,700円）で比較的安いうえ、購入する際に面倒な作業はなかった。中国は電子マネーが普及しているので、銀行口座と携帯があると便利だった。

8月30日（木）
クラス分けテスト
内容 ・個人の能力に合わせたクラスを編成するためのテスト

クラス分けテストの所感

筆記試験と口頭試験があり、筆記試験ではリスニングや選択問題、長文などの問題があり、口頭試験では先生と一対一での試験だった。テスト用紙はすべて中国語での説明であったため戸惑った。

また今回の授業の一週間のスケジュールは以下のとおりであった。

	月	火	水	木	金
1限		リーディング			
2限	リーディング	リスニング	スピーキング		
3限	スピーキング		リスニング	スピーキング	リスニング
4限		補講		リーディング	中国文化



(クラスメートとの写真)

9月22日(土)～24日(月)

内モンゴル旅行

内容

- ・22日 バスに乗って内モンゴルまで移動、キャンプファイヤー、ゲルに宿泊
- ・23日 砂漠へ移動、ラクダに乗ったり乗馬体験、ホテルに宿泊
- ・24日 博物館見学、北京師範大学へ帰る

内モンゴル旅行の所感

移動時間が非常に長かったが、ゲルに宿泊したり、砂漠でラクダに乗ったりと内モンゴルの文化に触れる事ができ充実していた。



(内モンゴルの砂漠での写真)

11月1日(木)～2日(金)

中間テスト

内容

- ・1日 リーディング、スピーキング
- ・2日 リスニング

中間テストの所感

授業の復習を行えば問題ないテスト内容であった。

11月17日(月)～23日(日)

江西省修学旅行

内容

・江西省へ修学旅行

江西省修学旅行の所感

江西省は陶器で有名なところであり、寝台列車での移動から始まり、陶器に関する様々な博物館や場所を訪れ、ろくろ体験や絵付け体験をし、三清山に登ったりした。また漢語文化学院の生徒や外国人留学生と行動を共にしたため、新しい交流ができた。



(修学旅行の写真)

12月27日(木)～12月27日(金)

期末テスト

内容

- | |
|--------------------|
| ・27日 リーディング、スピーキング |
| ・28日 リスニング |

期末テストの所感

中間テストよりも若干難易度が上がったように感じたが、復習を行えば問題ないテスト内容であった。テスト形式も中間テストと変わらなかった。